

藤里町林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)

計 画 期 間

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 1 2 年 3 月 3 1 日

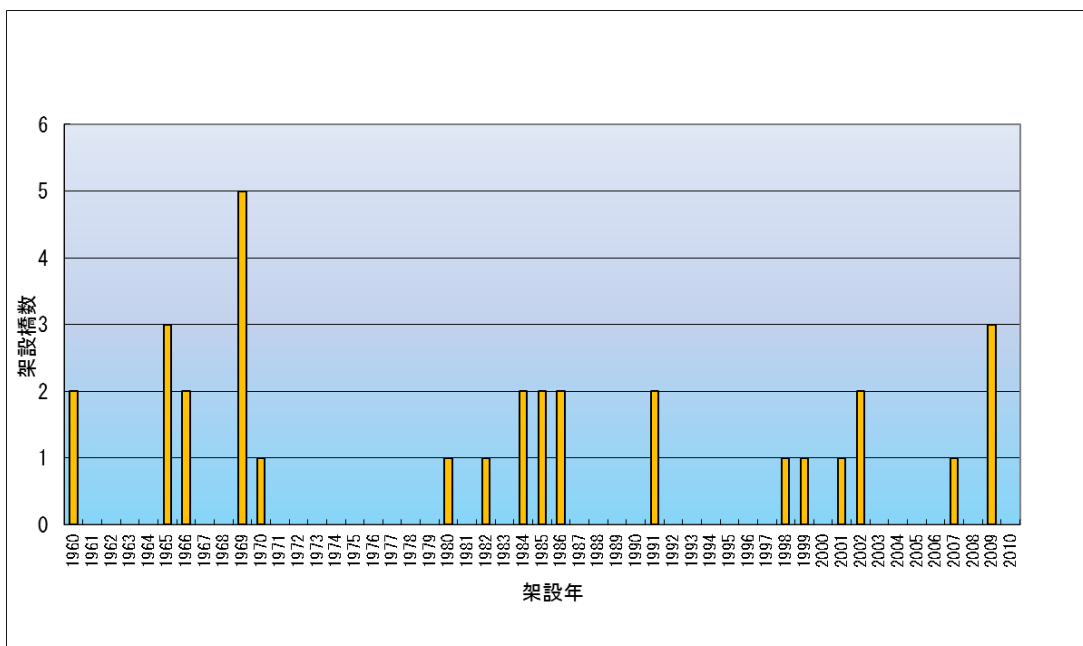
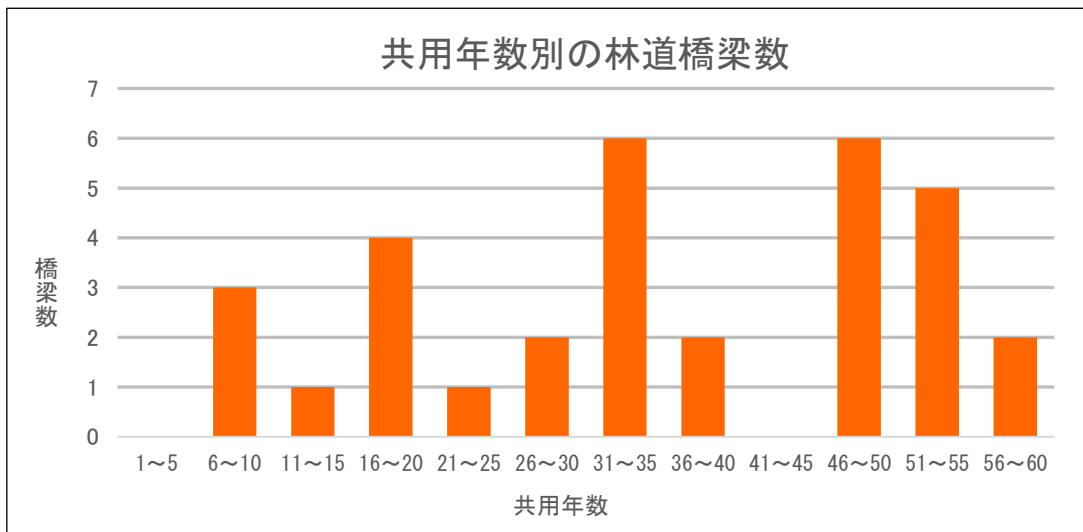
藤里町役場生活環境課

令和 2 年 2 月

1 基本的事項

当町における林道施設は林道橋32橋、トンネル2箇所である。昭和35年から平成23年までに建設されており、供用年数別の林道橋梁数は下図のとおりである。

財務省令「原価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和43年3月31日大蔵省令第15号)によると橋梁の耐用年数は60年、トンネルは75年であり、建設年度が最も古い「前山・滝の沢線3号橋、4号橋」においては供用年数が59年である事から、耐用年数を経過する林道施設は令和2年度から出現することとなる。トンネルに関しては「素波里トンネル」の供用年数が14年、「鹿瀬内トンネル」が8年と比較的新しいものの、現段階から林道施設の現状を個別に把握するとともに、現状を踏まえた施設毎の維持管理・更新等を実施する持続可能なメンテナンスサイクルを構築する事によって、林道施設維持管理費用の縮減及び平準化を図ることが重要である。



本計画は、予防保全型維持管理の考え方を導入し、持続可能なメンテナンスサイクル構築に向けた取組みを進めるために策定するものである。

2 対象施設

本計画の対象とする施設は別紙のとおり。

3 計画期間

本計画における施設毎の計画期間は別紙のとおり。

4 施設の優先度

本計画における施設毎の優先度は別紙のとおり。

5 施設の状況等

全ての林道施設において例年目視による点検を実施している。しかし、林道施設の状態は経年劣化等によって変化する事から、令和元年度に32橋、2トンネルの点検・診断を実施した。また、5年に1度は点検・診断を実施し、定期的に施設毎の状態を把握することとする。

6 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の状況等」を踏まえ、施設毎に講じる対策の内容及び実施の時期について別紙のとおり計画する。

7 対策費用

個別施設毎の対策費用の概算については別紙のとおり。なお、この金額は計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
1	3	自動車道1級	開放型	2019.7.22,24

橋梁名	長場内橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛下長場内	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛下長場内		至	km	

供用開始日	1998年12月	活荷重・等級	B活荷重	適用示方書	平成6年(1994年)	
橋長	105 m	総径間数	3 径間			
上部構造形式	PC T桁橋	下部構造形式	逆T式橋台 壁式橋脚	基礎形式	基礎形式不明	
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-	
	交通量	-		荷重制限	-	
幅員	左側				右側	
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m
海岸からの距離	15,800 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し	
路下条件	河川: 粕毛川			施業計画	有・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 横桁: 鳥の巣や糞を維持工事において清掃するのが望ましい。 下部工: 漏水や支承下面付近のひびわれの早期の対策が望ましい。 路面: 路肩や伸縮装置の土砂を維持工事にて清掃するのが望ましい。			
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	I			
		横桁	II	横桁に鳥の巣・糞の付着		写真番号52~54 第1径間 横桁03 写真番号131~133 第2径間 横桁02 写真番号217,219 第3径間 横桁03
		床版	I			
	下部構造	II	堅壁や梁、柱の漏水 支承下面付近のひびわれ		写真番号81 A1橋台、写真番号252 A2橋台 写真番号245~249 P2橋脚 写真番号163 P1橋脚	
支承部	I					
その他	II	路肩、伸縮装置の土砂詰り		写真番号7, 8, 14, 15 第1径間 路面、伸縮装置 写真番号89, 90 第2径間 路面 写真番号174,175,184,185 第3径間 路面、伸縮装置		
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	R5				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。			
	対策費用 (概算)	400千円				
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
2	3	自動車道1級	開放型	2019.7.31

橋梁名	うわまち橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛		至	km	

供用開始日	1999年12月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成6年(1994年)
橋長	50 m	総径間数	3 径間		
上部構造形式	鋼 ラーメン橋	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	直接基礎

交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-
	交通量	-		荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m	3.5 m	0 m

海岸からの距離	16,000 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 粕毛川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工: 外部からの漏水や遊離石灰を伴うひびわれが生じている為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 舗装, 伸縮装置, 排水施設: 維持工事にて、清掃を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	I		
		横桁	I		
		床版	I		
	下部構造		II	胸壁の漏水 縦壁の遊離石灰を伴うひびわれ	写真162~164 A2橋台
支承部		I			
その他		II	舗装, 伸縮装置, 排水施設の土砂詰り	写真番号2,44,105,106 舗装 写真番号113 伸縮装置 写真番号9,52,53,114,115 排水施設	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
3	3	自動車道1級	開放型	2019.7.29

橋梁名	坊中橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴上坊中	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴上坊中		至	km	

供用開始日	2001年1月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成8年(1996年)
橋長	55 m	総径間数	2 径間		
上部構造形式	木 トラス橋	下部構造形式	逆T式橋台 壁式橋脚	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	12.3 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	10.3 m	0.4 m	2 m	3.5 m	0 m	0 m	0.6 m

海岸からの距離	22,120 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川:藤琴川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁:状況に応じて、板厚減少を伴う錆の補修を行うのが望ましい。 下部工:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 伸縮装置:劣化やひびわれの補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	鋼製部材の板厚減少を伴う錆	写真48 第1径間下弦材01 写真135 第2径間下弦材01
		横桁	I		
		床版	I		
	下部構造	II	橋台の漏水 橋脚の漏水	写真89,93 A1橋台 写真173,175 P1橋脚 写真186,187 A2橋台	
支承部	I				
その他	II	伸縮装置の劣化,土砂詰り 路面の凹凸 排水施設の土砂詰り	写真40,42,127,129 伸縮装置 写真2,7,97 路面 写真43~46,130~133 排水施設		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	400千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
4	3	自動車道1級	開放型	2019.8.10

橋梁名	北熊の岱橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛		至	km	

供用開始日	2002年10月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成8年(1996年)
橋長	10.5 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC 床版橋	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	杭基礎

交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-
	交通量	-		荷重制限	-

幅員	左側					右側			
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m	3.5 m	0 m	0.6 m

海岸からの距離	16,900 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	の指定	無し
路下条件	河川			施業計画	①・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工: 堅壁に漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 護岸: 一部陥没している箇所がある為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。			
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	I			
		横桁	無			
		床版	無			
	下部構造	II	堅壁の漏水 護岸の陥没		写真番号21~24 A1橋台 写真番号27~30 A2橋台 写真番号31 護岸	
支承部	I					
その他	I					

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	R5				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。			
	対策費用 (概算)	300千円				
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
5	3	自動車道1級	開放型	2019.8.2

橋梁名	素波里1号橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛		至	km	

供用開始日	2002年12月	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	22.5 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	PC 床版橋	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側			
	全幅員	8.2 m	地覆			歩道部		道路幅・車線	
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m		3.5 m	0 m	3.5 m	0 m

海岸からの距離	17,800 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	指定なし
路下条件	河川:嘉左エ門沢			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工: 堅壁に漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 舗装,排水施設: 土砂を維持工事にて清掃するのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
	部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)	
	上部構造	主桁	I		
		横桁	無		
		床版	II		
	下部構造	II	堅壁の漏水	写真番号41 A2橋台	
支承部	I				
その他	II	路肩,排水施設の土砂詰り	写真番号3,4 舗装 写真番号27,28 排水施設		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度
	内容	補修
	実施予定時期	R5
	施設の優先度	低 (優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
6	3	自動車道1級	開放型	2019.7.30

橋梁名	素波里2号橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛		至	km	

供用開始日	2007年10月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成14年(2002年)	
橋長	56 m	総径間数	2 径間			
上部構造形式	鋼 I桁橋	下部構造形式	逆T式橋台 壁式橋脚	基礎形式	直接基礎 場所打ち杭基礎	
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-	
	交通量	-		荷重制限	-	
幅員	左側				右側	
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m
海岸からの距離	17,900 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し	
路下条件	湖:素波里湖			施業計画	有・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁:うろこ状の錆がみられる為状況に応じて補修を行うのが望ましい。 下部工:止水対策を行うのが望ましい。 舗装,伸縮装置,排水施設:維持工事で清掃,補修を行うのが望ましい。			
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁のうろこ状の錆		写真18 第1径間主桁03
		横桁	I			
		床版	I			
	下部構造		II	橋台、橋脚の漏水		写真41,42 A1橋台 写真87 P1橋脚 写真88~90 A2橋台
	支承部		I			
	その他		II	舗装,伸縮装置の土砂詰り 排水施設の接続管の脱落,漏水		写真2,10,36 第1径間 写真54,78 第2径間
	長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度			
内容		補修				
実施予定時期		R5				
施設の優先度		低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。			
対策費用 (概算)		400千円				
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
7	3	自動車道1級	開放型	2019.7.31

橋梁名	素波里3号橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町粕毛	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町粕毛		至	km	

供用開始日	2009年1月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成14年(2002年)	
橋長	64 m	総径間数	2 径間			
上部構造形式	鋼 箱桁橋	下部構造形式	逆T式橋台 張出し式小判柱橋脚	基礎形式	深礎杭基礎	
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-	
	交通量	-		荷重制限	-	
幅員	左側				右側	
	全幅員	8.8 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部
	有効幅員	7.6 m	0.6 m	0 m	3.8 m	0 m
海岸からの距離	18,300 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し	
路下条件	湖:素波里湖			施業計画	有・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工:伸縮装置等からの漏水がみられる為、止水対策が望ましい。 舗装,伸縮装置:維持工事で清掃,補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	I		
		横桁	I		
		床版	I		
	下部構造		II	橋台、橋脚の漏水	写真32 A1橋台 写真63,64 P1橋脚 写真68,69,71 A2橋台
	支承部		I		
	その他		II	舗装,伸縮装置の土砂詰り	写真12 第1径間 写真35,46 第2径間
	長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度		
内容		補修			
実施予定時期		R5			
施設の優先度		低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
対策費用 (概算)		300千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
8	3	自動車道1級	開放型	2019.7.26

橋梁名	西股沢橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	2009年12月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成14年(2002年)				
橋長	22.5 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC 中空床版橋	下部構造形式	逆T式橋台 ラーメン式橋台	基礎形式	直接基礎				
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-				
	交通量	-		荷重制限	-				
幅員	左側				右側				
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m	3.5 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	20,500 m		緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し			
路下条件	河川:西の股沢				施業計画	有・無			

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II		(所見等) 主桁:規則的な変色がある為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 下部工:状況に応じてひびわれ補修や止水対策を行うのが望ましい。 排水施設:土砂を維持工事にて清掃するのが望ましい。					
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)								
	部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)			備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)		
	上部構造	主桁	II	主桁の変色			写真番号11 主桁01		
		横桁	無						
		床版	I						
	下部構造		II	胸壁,堅壁の漏水 頂版のひびわれ			写真番号22,26 A1橋台 写真番号28,30 A2橋台 写真番号28~40 A2橋台頂版		
支承部		I							
その他		II	排水施設の土砂詰り			写真番号8,9 排水施設			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度							
	内容	補修							
	実施予定時期	R5							
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。						
対策費用 (概算)	200千円								
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。								

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
9	3	自動車道1級	開放型	2019.8.9

橋梁名	東股沢橋	路線名	米代線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	2009年10月	活荷重・等級	A活荷重	適用示方書	平成14年(2002年)				
橋長	16.5 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC 中空床版橋	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	場所打ち杭基礎				
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-				
	交通量	-		荷重制限	-				
幅員	左側				右側				
	全幅員	8.2 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	7 m	0.6 m	0 m	3.5 m	0 m	3.5 m	0 m	0.6 m
海岸からの距離	20,800 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し				
路下条件	河川: 東股沢			施業計画	有・無				

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁: 打ち継ぎ目からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。 床版, 下部工: 伸縮装置等からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。 伸縮装置: 土砂を維持工事にて清掃するのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	打ち継ぎ目からの漏水	写真番号14,15 主桁01
		横桁	無		
		床版	II	伸縮装置からの漏水	写真番号17
	下部構造	II	胸壁や壁の漏水	写真番号25,31,32 A1橋台 写真番号34,35 A2橋台	
支承部	I				
その他	II	伸縮装置の土砂詰り 導水管の脱落	写真番号8,10 伸縮装置 写真番号22,23 導水管		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
10	4	自動車道2級	開放型	2019.7.17

橋梁名	1号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴石川原平	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴石川原平		至	km	

供用開始日	1969年10月	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	7 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m	0 m	0 m	0.35 m

海岸からの距離	19,600 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川:寺沢川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁:鉄筋露出がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 床版, 下部構造:状況に応じて止水対策を行うのが望ましい。 支承部:状況に応じて補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の剥離・鉄筋露出	写真番号28 主桁01 写真番号31 主桁02
		横桁	I		
		床版	II	床版の漏水	写真番号36 床版01 写真番号40 床版03
	下部構造		II	胸壁・縦壁に漏水	写真番号51 A1橋台 写真番号57 A2橋台
支承部		II	支承の劣化	写真番号41~44 支承0101~0202	
その他		II	防護柵の腐食 伸縮装置,舗装,排水施設の土砂堆積 排水施設の腐食	写真番号8,10 防護柵01,02 写真番号20,22 伸縮装置 写真番号45~47 排水施設	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R5			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	300千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
11	4	自動車道2級	開放型	2019.7.17

橋梁名	2号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1969年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	12 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m

海岸からの距離	19,400 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 寺沢川			施業計画	①・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁,床版,下部工:状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 防護柵,排水施設:状況に応じて補修を行う必要がある。 伸縮装置,舗装,排水施設:維持工事にて清掃,補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 ができるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の漏水	写真番号34 主桁01 写真番号37 主桁02
		横桁	I		
		床版	II	床版の漏水	写真番号41 床版01 写真番号44 床版03
	下部構造	II	胸壁, 壁の漏水	写真番号55 A1橋台 写真番号61,63 A2橋台	
支承部	II	支承の劣化	写真番号46 支承0101		
その他	II	防護柵の腐食・ナット脱落,地覆のうき・剥離 伸縮装置の土砂堆積・剥離,舗装の段差 排水施設の腐食,親柱の傾斜	写真9,13 防護柵,写真15,19 地覆 写真23,25 伸縮装置 写真2 舗装 写真49,50 排水施設 写真21 親柱		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
12	4	自動車道2級	開放型	2019.7.17

橋梁名	3号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1969年8月	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	7.4 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m	0 m	0 m	0.25 m

海岸からの距離	19,300 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 寺沢川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁,床版,下部工:状況に応じて止水対策を行うのが望ましい。 横桁:状況に応じて補修を行うのが望ましい。 支承部:状況に応じて補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 ができるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の漏水	写真番号27 主桁01 写真番号28 主桁02
		横桁	II	横桁の遊離石灰	写真番号30 横桁03
		床版	II	床版の漏水	写真番号31 床版01 写真番号33 床版03
	下部構造	II	胸壁・堅壁の漏水	写真番号45・47 A1橋台 写真番号52・54 A2橋台	
支承部	II	支承の劣化	写真番号35~37 支承0102~0202		
その他	II	防護柵の腐食,地覆の剥離 伸縮装置の土砂堆積,舗装の段差 排水施設の腐食,親柱の崩落	写真38~41 防護柵,写真12 地覆 写真19,21 伸縮装置,写真2 舗装 写真38~41 排水施設,写真14~17 親柱		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
13	4	自動車道2級	開放型	2019.07.18

橋梁名	4号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1965年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	8.5 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.4 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.35 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m

海岸からの距離	19,100 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 寺沢川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁,横桁, 床版, 下部工: 状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 支承部: 状況に応じて補修を行うのが望ましい。 防護柵: 状況に応じて補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の錆汁・鉄筋露出	写真番号28 主桁01 写真番号33 主桁02
		横桁	I		
		床版	I		
	下部構造	II	胸壁・堅壁の漏水	写真番号55・57 A1橋台 写真番号62・63 A2橋台	
支承部	II	支承の劣化	写真番号45~47 支承0102~0202		
その他	II	防護柵の腐食・変形 親柱の崩落	写真10・14 防護柵 写真18 親柱		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R5			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	200千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
14	4	自動車道2級	開放型	2019.7.18

橋梁名	5号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1965年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	9 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				右側				
	全幅員	4.3 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.35 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.35 m

海岸からの距離	19,300 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 寺沢川			施業計画	有・ 無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 床版, 下部工: 状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 防護柵: 状況に応じて補修を行う必要がある。 伸縮装置, 舗装: 維持工事にて清掃を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	I		
		横桁	I		
		床版	II	床版の漏水・遊離石灰	写真番号34 床版01 写真番号36 床版02 写真番号37 床版03
	下部構造		II	胸壁・縦壁に漏水	写真番号48・50 A1橋台 写真番号54・56 A2橋台
支承部		II	支承の劣化	写真番号38~41 支承0102~0202	
その他		II	防護柵の腐食, 地覆の剥離, 伸縮装置の土砂堆積, 舗装の凹凸, 親柱の鉄筋露出	写真番号8・11 防護柵, 写真番号15・17 地覆, 写真番号21・23 伸縮装置, 写真番号3 舗装, 写真番号18 親柱	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
15	4	自動車道2級	開放型	2019.7.18

橋梁名	6号橋	路線名	寺沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1965年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	14 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				右側				
	全幅員	4.3 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.35 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.35 m

海岸からの距離	19,800 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 寺沢川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁,床版,下部工:状況に応じて止水対策等の補修を行うのが望ましい。 防護柵:状況に応じて補修を行う必要がある。 伸縮装置,舗装:維持工事にて補修,清掃を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の漏水・鉄筋露出	写真番号28 主桁01 写真番号33 主桁02
		横桁	I		
		床版	II	床版の漏水・ひびわれ	写真番号39 床版01 写真番号41 床版02 写真番号43 床版03
	下部構造	II	胸壁・縦壁に漏水	写真番号54・53 A1橋台 写真番号58・60 A2橋台	
支承部	II	支承の劣化	写真番号45~47 支承0102~0202		
その他	II	防護柵の腐食,地覆の剥離, 伸縮装置の土砂堆積, 舗装の凹凸,親柱の崩落	写真番号6・9 防護柵, 写真番号13・15 地覆, 写真番号21・23 伸縮装置, 写真番号2 舗装, 写真番号16 親柱		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
16	5	自動車道2級	開放型	2019.8.6

橋梁名	3号橋	路線名	前山・滝の沢線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至	km	

供用開始日	1960年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	4 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m	1.8 m	0 m	0 m	0.15 m

海岸からの距離	22,900 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川			施業計画	有・ 無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 床版:剥離や遊離石灰を状況に応じて補修するのが望ましい。 下部工:剥離やひびわれ、洗堀を状況に応じて補修するのが望ましい。 地覆,舗装:維持工事での補修が望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無		
		横桁	無		
		床版	II	床版の剥離, 遊離石灰	写真番号14,15 床版01
	下部構造	II	堅壁の剥離, ひびわれ 基礎の洗堀	写真番号20~23 A1橋台 写真番号27 A1橋台	
支承部	I				
その他	II	地覆の剥離、遊離石灰 舗装の凹凸	写真番号10,18 地覆 写真番号2 舗装		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	400千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
17	5	自動車道2級	開放型	2019.8.6

橋梁名	4号橋	路線名	前山・滝の沢線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至	km	

供用開始日	1960年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明				
橋長	6.3 m	総径間数	2 径間						
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台 パイルベント橋脚	基礎形式	基礎形式不明				
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-				
	交通量	-		荷重制限	-				
幅員	左側				右側				
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m	0.15 m
海岸からの距離	23,300 m		緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し			
路下条件	河川:奥滝の沢				施業計画	①・無			

総合検査結果	健全度 (橋単位)	III	(所見等) 床版:床版の剥離を状況に応じて補修を行うのが望ましい。 下部工:P1橋脚の柱のひびわれを早期に補修するのが望ましい。 地覆:広範囲の剥離を状況に応じて補修を行うのが望ましい。			
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無			
		横桁	無			
		床版	II	床版の剥離		写真番号10 第1径間
	下部構造		III	柱のひびわれ		写真番号33 P1橋脚
支承部		I				
その他		II	地覆の剥離		写真番号4,6 第1径間 写真番号17,19 第2径間	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	ボックスカルバートへ架け替え	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	3,500千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				3.5	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
18	8	自動車道2級	開放型	2019.7.16

橋梁名	水無橋	路線名	横倉線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1969年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	3 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側			
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部		道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m		1.8 m	0 m	0 m	0.15 m

海岸からの距離	24,500 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	の指定	無し
路下条件	河川			施業計画	①・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工: 堅壁に遊離石化がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承: 一部に劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 舗装, 伸縮装置, 排水施設: 土砂詰りがみられる為、清掃を行うのが望ましい。			
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無			
		横桁	無			
		床版	I			
	下部構造	II	堅壁の遊離石灰		写真番号32 A2橋台	
支承部	II	支承の劣化		写真番号19 支承0101		
その他	II	伸縮装置の劣化 舗装, 伸縮装置, 排水施設の土砂詰り 排水施設の欠損		写真番号2 舗装 写真番号7,9 伸縮装置 写真番号10,11,23,24 排水施設		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	R5				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。			
	対策費用 (概算)	400千円				
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
19	10	自動車道2級	開放型	2019.8.6

橋梁名	砦橋	路線名	西薄井沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町矢坂	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町矢坂		至	km	

供用開始日	1969年11月	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	7 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.1 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.25 m	0 m	1.8 m	0 m	1.8 m	0 m

海岸からの距離	19,300 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川: 薄井沢川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁・横桁: 状況に応じて鉄筋露出の補修を行うのが望ましい。 下部工・床版: 漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承: 劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の鉄筋露出	写真番号25 主桁01
		横桁	II	横桁の鉄筋露出	写真番号29 横桁01
		床版	II	床版の漏水	写真番号34 床版03
	下部構造	II	縦壁の漏水	写真番号49 A1橋台 写真番号51 A2橋台	
支承部	II	支承の劣化	写真番号35~38 支承		
その他	II	防護柵の腐食, 地覆の剥離 伸縮装置の土砂詰り, 舗装の段差 親柱の欠損, 鉄筋露出	写真4,6 防護柵, 写真10,45 地覆 写真17,19 伸縮装置, 写真2 舗装 写真29~42 排水施設, 写真13 親柱		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度			
	内容	補修			
	実施予定時期	R5			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。		
	対策費用 (概算)	400千円			
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
20	11	自動車道2級	開放型	2019.7.23

橋梁名	西の沢橋	路線名	上茶屋線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1970年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	6.1 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	3.9 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	3.6 m	0.15 m	0 m	1.8 m	0 m	0 m	0.15 m

海岸からの距離	23,200 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川:西の沢			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 床版下部工:剥離が多い為、状況に応じて断面修復等を行うのが望ましい。 支承:支承が劣化している為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 地覆,伸縮装置,舗装:維持工事にて補修や清掃を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無		
		横桁	無		
		床版	II	床版の漏水,剥離	写真番号17~27 床版01
	下部構造	II	縦壁の剥離,欠損,漏水	写真番号40 A1橋台 写真番号52 A2橋台	
支承部	II	支承の劣化	写真番号28 支承0101 写真番号29 支承0102		
その他	II	地覆の脱落 伸縮装置の土砂詰り 路面の凹凸	写真5,7 地覆 写真9,11 伸縮装置 写真2 舗装		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	500千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.5	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
21	12	自動車道2級	開放型	2019.7.19

橋梁名	深緑橋	路線名	桂岱線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴 至 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離	自 _____ km 至 _____ km	管轄	藤里町

供用開始日	1966年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	6 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	3.3 m	地覆	歩道部		道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部
	有効幅員	3 m	0.15 m	0 m	1.5 m	0 m	0 m	0.15 m

海岸からの距離	26,200 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	指定なし
路下条件	河川:早飛沢			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工:擁壁の基礎が洗堀されている為、早期の対策が望ましい。 地覆:端部が鉄筋露出している為、維持工事において補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において、滞水や土砂の排除を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無		
		横桁	無		
		床版	I		
	下部構造		II	擁壁基礎部分の洗堀	写真番号19,20 A1橋台擁壁
支承部		I			
その他		II	地覆の鉄筋露出 伸縮装置の滞水・土砂詰り 舗装の土砂詰り	写真6 地覆02 写真8,10 伸縮装置 写真2 舗装	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	400千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備 考

橋梁諸元と総合検査結果				
個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
22	13	自動車道2級	開放型	2019.7.19

橋梁名	蒼林橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	不明	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明			
橋長	13 m	総径間数	1 径間					
上部構造形式	RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明			
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-				
	交通量	-	荷重制限	-				
幅員	左側				右側			
	全幅員	3.6 m	地覆	0.3 m	歩道部	0 m	道路幅・車線	1.5 m
	有効幅員	3 m	歩道部	0 m	道路幅・車線	0 m	歩道部	0 m
中央部	0 m	地覆	0.3 m	道路幅・車線	1.5 m	歩道部	0 m	
海岸からの距離	7,600 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し			
路下条件	河川:早飛沢			施業計画	①・無			

総合検査結果	健全度 (橋単位)	III	(所見等)主桁・床版:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 下部工:擁壁の基礎が洗掘されている為、早期の対策が望ましい。 防護柵:全て脱落している為、早期の再設置が望ましい。 地覆,伸縮装置,舗装,排水施設:状況に応じて補修を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
	部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)	
	上部構造	主桁	II	主桁の漏水	写真番号25 主桁01 写真番号26 主桁02
		横桁	I		
		床版	II	床版の漏水,遊離石灰	写真番号30 床版01 写真番号33 床版03
	下部構造	III	擁壁基礎部分の洗掘	写真番号45 A1橋台擁壁	
支承部	I				
その他	II	防護柵の脱落,地覆の鉄筋露出 伸縮装置の欠損・劣化,舗装の段差 排水施設の土砂詰り	写真8,10 防護柵,写真12,14 地覆 写真16,17,19 伸縮装置 写真2,6 舗装,写真21,23 排水施設		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R2	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	500千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.5	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
23	13	自動車道2級	開放型	2019.8.5

橋梁名	1号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢		至	km	

供用開始日	1984年12月	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明				
橋長	11 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC 床版橋 RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明				
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-					
	交通量	-	荷重制限	-					
幅員	左側				右側				
	全幅員	4.6 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.25 m
海岸からの距離	23,200 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し				
路下条件	河川:大沢川			施業計画	①・無				

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁:状況に応じて鉄筋露出の補修,止水対策を行うのが望ましい。 下部工・床版:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。						
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)								
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)			備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)		
	上部構造	主桁	II	主桁の鉄筋露出 主桁の漏水,遊離石灰			写真番号27 主桁01 写真番号28~30 主桁02 写真番号31 主桁03		
		横桁	II	横桁の遊離石灰			写真番号32 横桁01		
		床版	II	床版のひびわれ,遊離石灰			写真番号35,36 床版01 写真番号39 床版03		
	下部構造	II	胸壁,縦壁の漏水			写真番号57,59 A1橋台 写真番号61,62 A2橋台			
支承部	II	支承の劣化			写真番号43~46 支承				
その他	II	防護柵の腐食,地覆の遊離石灰 伸縮装置,舗装の土砂詰り 排水施設の腐食			写真9 防護柵,写真55 地覆 写真19,21 伸縮装置,写真2 舗装 写真49~52 排水施設				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度							
	内容	補修							
	実施予定時期	R4							
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。						
対策費用 (概算)	300千円								
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。								

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
24	13	自動車道2級	開放型	2019.8.5

橋梁名	2号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町大沢夏峠沢		至	km	

供用開始日	1984年12月	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明				
橋長	10.5 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明				
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-				
	交通量	-		荷重制限	-				
幅員	左側				右側				
	全幅員	4.8 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.4 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.4 m
海岸からの距離	23,300 m		緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	の指定	無し		
路下条件	河川:一の又川				施業計画	①・無			

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II		(所見等) 下部工:外部や伸縮装置からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。 防護柵:変形している箇所の部材交換を行うのが望ましい。 伸縮装置,排水施設:維持工事において清掃を行うのが望ましい。					
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)								
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)			備考(写真番号、位置等がわかるように記載)		
	上部構造	主桁	I						
		横桁	無						
		床版	無						
	下部構造		II	縦壁の漏水			写真番号38 A1橋台		
支承部		I							
その他		II	防護柵の変形 伸縮装置,排水施設の土砂詰り 舗装の段差			写真13 防護柵 写真19,21 伸縮装置, 写真5 舗装 写真22~25 排水施設			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度							
	内容	補修							
	実施予定時期	R4							
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。						
	対策費用 (概算)	300千円							
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。								

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
25	13	自動車道2級	開放型	2019.8.7

橋梁名	3号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至	km	

供用開始日	1985年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明				
橋長	10 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC 床版橋 RC T桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明				
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-					
	交通量	-	荷重制限	-					
幅員	左側				右側				
	全幅員	4.6 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.35 m
海岸からの距離	23,400 m		緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し			
路下条件	河川:一の又川				施業計画	①・無			

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁,横桁,床版:鉄筋露出の補修,止水対策を行うのが望ましい。 下部工:漏水がみられる為、止水対策を行うのが望ましい。 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。						
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)								
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)			備考(写真番号、位置等がわかるように記載)		
	上部構造	主桁	II	主桁の鉄筋露出, 漏水			写真番号24 主桁01 写真番号43 主桁02 写真番号44 主桁03		
		横桁	II	横桁の鉄筋露出			写真番号48		
		床版	II	床版の鉄筋露出			写真番号53,54 床版03		
	下部構造	II	胸壁, 縦壁の漏水			写真番号71 A1橋台 写真番号73 A2橋台			
支承部	II	支承の劣化			写真番号58 支承201				
その他	II	防護柵の腐食 伸縮装置, 舗装の土砂詰り 排水施設の腐食			写真4 防護柵 写真12, 14 伸縮装置, 写真2 舗装 写真62,65 排水施設				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度							
	内容	補修							
	実施予定時期	R4							
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。						
	対策費用 (概算)	400千円							
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。								

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.4	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
26	13	自動車道2級	開放型	2019.8.7

橋梁名	4号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢名不知	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢名不知		至	km	

供用開始日	1985年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明				
橋長	5.4 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	PC 床版橋 RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明				
交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-					
	交通量	-	荷重制限	-					
幅員	左側				右側				
	全幅員	4.6 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.35 m
海岸からの距離	23,300 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し				
路下条件	河川:大沢川			施業計画	①・無				

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁:状況に応じて、主桁側面のひびわれの補修を行うのが望ましい。 床版:状況に応じて、目地の劣化,脱落の補修を行うのが望ましい。 下部工:状況に応じて、基礎部分の洗堀の補修を行うのが望ましい。						
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)								
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)			備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)		
	上部構造	主桁	II	主桁のひびわれ			写真番号18 主桁01		
		横桁	無						
		床版	II	目地の劣化, 脱落			写真番号19 床版01		
	下部構造		II	基礎の洗堀 擁壁の洗堀			写真番号29,31 A2橋台		
支承部		II	支承の劣化			写真番号20 支承101 写真番号21 支承102			
その他		II	伸縮装置の土砂詰り,舗装の段差 排水施設の欠損 護岸の崩落			写真10,12 伸縮装置, 写真3 舗装 写真24 排水施設, 写真27 護岸			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度							
	内容	補修							
	実施予定時期	R4							
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。						
対策費用 (概算)	300千円								
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。								

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
27	13	自動車道2級	開放型	2019.8.7

橋梁名	5号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至	km	

供用開始日	1986年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	7.5 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	0 m	0.25 m

海岸からの距離	23,400 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	の指定	無し
路下条件	河川:大沢川			施業計画	①・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工:伸縮装置からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。 支承:状況に応じて、劣化の補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。			
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無			
		横桁	無			
		床版	I			
	下部構造	II	壁の漏水,遊離石灰		写真番号25 A1橋台	
支承部	II	支承の劣化		写真番号20 支承101 写真番号21 支承102		
その他	II	伸縮装置の土砂詰り 舗装の段差		写真12.14 伸縮装置 写真2 舗装		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	R4				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。			
	対策費用 (概算)	300千円				
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
28	13	自動車道2級	開放型	2019.8.9

橋梁名	6号橋	路線名	一の又線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町大沢滝の沢出口		至	km	

供用開始日	1986年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	6.5 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	0 m	0.25 m

海岸からの距離	23,900 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルートの指定	無し
路下条件	河川:大沢川			施業計画	①・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 下部工:状況に応じて目地からの遊離石灰の補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無		
		横桁	無		
		床版	I		
	下部構造		II	縦壁の遊離石灰	写真番号32 A1橋台 写真番号34 A2橋台
支承部		I			
その他		II	伸縮装置の土砂詰り 舗装の段差	写真18,20 伸縮装置 写真2 舗装	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R4	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
29	14	自動車道2級	開放型	2019.7.16

橋梁名	大砂崩橋	路線名	大砂崩線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1982年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	16.4 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	鋼 H桁橋	下部構造形式	逆T式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.8 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.4 m	0 m	2 m	0 m	0 m	0.4 m

海岸からの距離	24,900 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	指定なし
路下条件	河川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁:一部にうろこ状の錆が生じている為、早期に補修を行うのが望ましい。 下部工:伸縮装置からの漏水がみられる為、止水対策が望ましい。 支承:沓座モルタルが欠損している為、早期に補修するのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の防食機能の劣化	写真番号22 主桁01
		横桁	I		
		床版	I		
	下部構造		II	縦壁の漏水	写真番号54 A2橋台
支承部		II	沓座モルタルの欠損	写真番号39,40 支承0201	
その他		II	防護柵の腐食 伸縮装置の腐食,土砂詰り 舗装の段差	写真番号7,10 防護柵 写真番号14,16 伸縮装置 写真番号2 舗装	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	300千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
30	15	自動車道2級	開放型	2019.7.23

橋梁名	奥小比内橋	路線名	奥小比内線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町藤琴	距離票	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町藤琴		至	km	

供用開始日	1980年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	18.4 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	鋼 H桁橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.8 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.4 m	0 m	2 m	0 m	0 m	0.4 m

海岸からの距離	m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	の指定	無し
路下条件	河川:西股沢			施業計画	有・無	

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 主桁,横桁:状況に応じて、錆の補修を行うのが望ましい。 床版:状況に応じて、一方向のひびわれの補修を行うのが望ましい。 下部工:伸縮装置からの漏水の止水対策を行うのが望ましい。			
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)					
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)		備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	II	主桁の腐食		写真番号24 主桁01 写真番号25 主桁02
		横桁	II	横桁の腐食		写真番号27 横桁02
		床版	II	床版のひびわれ		写真番号34,38 床版02
	下部構造	II	胸壁, 堅壁の漏水		写真番号50 A1橋台 写真番号52 A2橋台	
	支承部	II	支承の腐食		写真番号43 支承0102 写真番号44 支承0201	
その他	II	路肩や伸縮装置土砂詰り		写真番号16,18 伸縮装置 写真番号2 舗装		

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	R5				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。			
	対策費用 (概算)	300千円				
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
31	18	自動車道2級	開放型	2019.8.8

橋梁名	1号橋	路線名	院内沢線	管轄	秋田県
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢向山下	距離	自	km	藤里町
	至 秋田県山本郡藤里町大沢向山下		至	km	

供用開始日	1991年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明
橋長	8.5 m	総径間数	1 径間		
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明

交通条件	調査年	不明	大型車 混入率	-
	交通量	-	荷重制限	-

幅員	左側				中央部	右側		
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m

海岸からの距離	21,900 m	緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	指定なし
路下条件	河川			施業計画	有・無

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。		
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)				
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等がわかるように記載)
	上部構造	主桁	無		
		横桁	無		
		床版	I		
	下部構造		I		
	支承部		II	支承の劣化	写真番号23 支承0101 写真番号24 支承0102
その他		II	伸縮装置の土砂詰り 舗装の段差	写真14,16 伸縮装置 写真2,4 舗装	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	R5	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。
	対策費用 (概算)	200千円	
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考	

橋梁諸元と総合検査結果

個別施設整理番号	林道台帳索引番号	林道の種類及び区分	路線区分	点検実施日
32	18	自動車道2級	開放型	2019.8.8

橋梁名	2号橋	路線名	院内沢線	管轄	秋田県 藤里町
所在地	自 秋田県山本郡藤里町大沢向山下	距離票	自	km	
	至 秋田県山本郡藤里町大沢向山下		至	km	

供用開始日	1991年	活荷重・等級	不明	適用示方書	不明				
橋長	8.5 m	総径間数	1 径間						
上部構造形式	RC 床版橋	下部構造形式	重力式橋台	基礎形式	基礎形式不明				
交通条件	調査年	不明		大型車 混入率	-				
	交通量	-		荷重制限	-				
幅員	左側				右側				
	全幅員	4.5 m	地覆	歩道部	道路幅・車線	中央部	道路幅・車線	歩道部	地覆
	有効幅員	4 m	0.25 m	0 m	2 m	0 m	2 m	0 m	0.25 m
海岸からの距離	21,800 m		緊急輸送路の指定	指定なし	優先確保ルート	の指定	無し		
路下条件	河川				施業計画	①・無			

総合検査結果	健全度 (橋単位)	II	(所見等) 支承:劣化がみられる為、状況に応じて補修を行うのが望ましい。 伸縮装置,舗装:維持工事において補修や清掃を行うのが望ましい。						
	部材単位の健全度(部材の最悪値を記入)								
		部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)			備考(写真番号、位置等 がわかるように記載)		
	上部構造	主桁	無						
		横桁	無						
		床版	I						
	下部構造	II	堅壁のひびわれ			写真番号34~36 A2橋台			
支承部	II	支承の劣化			写真番号26 支承0101 写真番号27 支承0102				
その他	II	伸縮装置の土砂詰り 舗装の段差			写真17,19 伸縮装置 写真2,5 舗装				

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度~令和11年度							
	内容	補修							
	実施予定時期	R5							
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 交通量が少なく、計画期間中に想定される事業量も多くないため。						
	対策費用 (概算)	200千円							
管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。								

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				0.2	0.4					0.4
対策の内容・実施時期				補修	点検					点検

備考										

個別施設計画一覧表(トンネル)

個別施設 整理番号	林道台帳 索引番号	路線名	林道種類 及び区分	トンネル名	所在地	起点から の距離	建設 年度	供用 年数	トンネル 等級	延長 (m)	幅員 (m)	建築限 界高さ (m)	内空断 面積 (㎡)	縦断勾 配 (%)	トンネル分 類	トンネル工法	壁面種類	天井板 種類	坑門形式		舗装	排水	通行規制 の有無	交通量 (台/日)	道路附 属物、占 用物件	施設の現況		計画内容				優先 度	措置記録				備考							
																			起点	終点						点検実施 年月日	判定 区分	所見等	計画 期間	内容 分類	概要(数量)		実施 予定時期	対策費用 (百万円)	実施 年月日	内容 分類		対策費用 (百万円)	再判定実施 年月日	再判定 区分				
																																									所見等	所見等	所見等	所見等
1	3	米代線	自動車道1級	素波里トンネル	藤里町粕毛		H17	14	1級	840.0	7.5	4.7	41.2	-3.00	陸上トンネル (掘進工法)	山岳トンネル工法	覆工(内装なし)	-	面壁型 0.7m	面壁型 0.7m	コンクリート系	歩道 一体型 円形側溝	無		照明 東北電力管路	2019.8.10	II	アーチ横断目地部の覆工コンクリートのうき	R2~R6	補修	覆工コンクリートのうき	R3	2.5	中										
2	3	米代線	自動車道1級	鹿瀬内トンネル	藤里町藤琴		H23	8	1級	752.0	8.0	4.5	41.1	2.57	陸上トンネル (掘進工法)	山岳トンネル工法	覆工(内装なし)	-	面壁型 0.7m	面壁型 0.7m	コンクリート系	歩道 一体型 円形側溝	無		照明	2019.8.8	II	横断目地部の覆工コンクリートのうき 横断目地部の閉合ひび割れ(打音異常なし)	R2~R6	点検		R5	0.4	中										

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	3	施設管理者	藤里町
路線名	米代線	林道種類及び区分	自動車道1級	トンネル名	素波里トンネル
施設の所在地	藤里町粕毛	起点からの距離	-	建設年度	H17
供用年数	14	設計または適用設計技術基準の年度	-	トンネル等級	1級

施設概要	施設の規模	延長	840m	全幅員	7.5m	建築限界高さ	4.7m	内空断面積	41.2m ²	縦断勾配	-3.00%
	施設の構造等	トンネル分類	陸上トンネル(掘進工法)		トンネル工法	山岳トンネル工法		通行規制の有無	無		
		壁面種類	覆工(内装なし)		天井板種類	-					
		坑門(起点側)形式・延長	面壁型 0.7m		交通量	4,000 台/日		排水	歩車道一体型 円形側溝		
		坑門(終点側)形式・延長	面壁型 0.7m		舗装	コンクリート系					
		道路附属物、占用物件	照明(ナトリウム灯 77灯)、東北電力管路								
施設の構造等	林道米代線は、藤里町、能代市、八峰町の3市町を横断する森林基幹林道で、森林整備の機能だけでなく、白神山地へのアクセス道など観光振興の面でも活用されている。また、通行止めとなる冬期間を除けば、米田地区と中通地区を結ぶ生活道としての機能も有しており、町外のみならず、地域住民の活用もみられる。										

施設の状態等の概要	点検診断日	2019.8.10	
	調査結果	アーチ横断目地部の覆工コンクリートのうきが確認された。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	施工方法(打ち込み不良、締固め不足、養生不足等)による材質劣化と考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	はく落対策の補修(金網・ネット工)	
	実施予定時期	R3	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 観光振興、生活道として一定の交通量があるため、優先度を「中」とした。
	対策費用(概算)	はく落防止工 約 2,500千円	

管理方法	長寿命化対策として、はく落防止工の補修工等を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。
------	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)		2.5			0.4					0.4
対策の内容・実施時期		補修			点検					点検

備考										

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	3	施設管理者	藤里町
路線名	米代線	林道種類及び区分	自動車道1級	トンネル名	鹿瀬内トンネル
施設の所在地	藤里町藤琴	起点からの距離	-	建設年度	H23
供用年数	8	設計または適用設計技術基準の年度	-	トンネル等級	1級

施設概要	施設の規模	延長	752m	全幅員	8.0m	建築限界高さ	4.5m	内空断面積	41.1m ²	縦断勾配	2.57%
	施設の構造等	トンネル分類	陸上トンネル(掘進工法)		トンネル工法	山岳トンネル工法		通行規制の有無	無		
		壁面種類	覆工(内装なし)		天井板種類	-					
		坑門(起点側)形式・延長	面壁型 0.7m		交通量	4,000 台/日		排水	歩車道一体型 円形側溝		
		坑門(終点側)形式・延長	面壁型 0.7m		舗装	コンクリート系					
		道路附属物、占用物件	照明(ナトリウム灯 59灯)								
施設の構造等	林道米代線は、藤里町、能代市、八峰町の3市町を横断する森林基幹林道で、森林整備の機能だけでなく、白神山地へのアクセス道など観光振興の面でも活用されている。また、通行止めとなる冬期間を除けば、米田地区と中通地区を結ぶ生活道としての機能も有しており、町外のみならず、地域住民の活用もみられる。										

施設の状態等の概要	点検診断日	2019.8.8	
	調査結果	横断目地部の覆工コンクリートのうき、横断目地部の閉合ひび割れ(打音異常なし)が確認された。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	トンネルの機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	施工方法(打ち込み不良、締固め不足、養生不足等)による材質劣化と考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	経過観察、定期点検	
	実施予定時期	R6	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 観光振興、生活道として一定の交通量があるため、優先度を「中」とした。
	対策費用(概算)	定期点検 400千円	

管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	
------	-----------------------------------	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					点検					点検

備考										